



一人権だより

vol.43



【人権・同和問題地域懇談会】

先月号でもお知らせした「桂川町人権・同和問題地域懇談会」（以下、地域懇談会）を10月1日から各行政区の集会所や公民館などで開催しています。

今年は視聴ビデオに「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」を使用しての地域懇談会となっています。このビデオでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップしています。

家庭の中で人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての『いのち』を大切にすることでもあります。人権というとか難しいことと思いますが、意外と身近なところに、人権問題は潜んでいます。気づくこと、そして、行動することの大切さを考えてみませんか？

そのために、地域懇談会に参加してビデオを視聴し、家庭の中の人権問題を、自分の中の人権意識を考えるための「きっかけ」にしたいだけだと思います。

なお、各行政区の日程や場所などにつきましては、9月中旬以降に各戸配布している日程表をご覧ください。
皆さまのご参加をお待ちしております。



【問合せ】

桂川町人権センター（旧桂川町隣保館）内
隣保・人権同和教育係 65・1187

けいせんびと

～話題の人・団体～

土師の生活環境を守る会

地域が一丸となって 生活しやすい環境を守る

8月下旬、土師浄水場近くの川沿いの道で、「土師の生活環境を守る会」の方々が汗を拭いながら草刈りを行っていた。

この道には、以前からヒガンバナが植栽されており、彼岸の時期には、色鮮やかな花卉が道行く人々の目を楽しませている。

土師の生活環境を守る会では、今年も綺麗に咲くことを願って、丹念に草刈りを行っている。

土師の生活環境を守る会は、薄れつつある地域内連帯感を取り戻し、住みよい、生活しやすい環境を、居住する全住民で守って行くという目標のもと、平成19年度に設立された組織だ。代表の樋口惇（土師一）さんは活動について次のように話す。



樋口 惇さん（70歳・土師一）
Higuchi Atsushi



▲各所に立てられている啓発看板は、地元の子どもたちが作成したもの。

「今年で8年目を迎えたこの活動は、平成23年度で5年間の第1期活動を終えました。現在、第2期の活動に入っており、46人の構成員で目標に向かって活動を続けています」

活動は月に1～2回。農道や用水路周辺の草刈り、泥上げを中心にやっている。「構成員全員が、活動目標を見失わず、強い連帯感で頑張っています」と樋口さんは笑みをこぼす。

「平成26年度からは、他地域で同様の活動を行う新しい活動組織ができると聞いています。それぞれの地域を守る活動を行う仲間ができることは大変嬉しいことです。共に一歩一歩、目標に向かって前進していきたいですね」

